

令和3年5月12日

関係各社

一般社団法人 日本アルプスガイドセンター
立山ガイド協会
認定 NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ
株式会社 Travearth (トラバース)
アルピコ長野トラベル株式会社

ライチョウ保護の理解促進を目的とした
山のプロガイド達による SDGs 野生動物観察ツアー
「**日本アルプス ライチョウ観察ガイドツアー**」の実施

ーリリースの概要

一般社団法人 日本アルプスガイドセンター（東京都渋谷区）、立山ガイド協会（富山県立山町）、認定 NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ（長野県松本市）、株式会社 Travearth（トラバース・富山県富山市）、アルピコ長野トラベル株式会社（長野県長野市）の5団体は、今回環境省と協力をして、国の絶滅危惧種に指定されているライチョウの保護活動周知や、その活動の理解促進を目的として、「日本アルプス ライチョウ観察ガイドツアー」を企画いたしました。

ツアー実施はそれぞれ団体によって役割が異なりますが、内容は国立公園でもある立山と乗鞍エリアにおいて、一般のハイカー向けにライチョウ観察をガイドするツアーで、昨年来のコロナ禍によって大きな痛手を受けている山岳観光関連事業者や、ライチョウ研究者などが、コロナ禍明けを見据え、自然保護と山岳観光促進を両立させる正に SDGs に沿った新たな旅行規格となるよう、その実現に向けて協力して進めてまいります。

立山エリアでは株式会社 Travearth（トラバース）、乗鞍地区ではアルピコ長野トラベル株式会社というそれぞれの地元旅行会社が主催し、更に地域を代表する山案内のプロ、日本山岳ガイド協会に所属するガイド達によって、ツアーガイドが行われる予定です。

日本アルプスガイドセンター ツアー案内ページ

<https://thejapanalps.com/activities/ptarmigan-tour/>

－ツアー概要－

<ツアー名称>

「日本アルプス ライチョウ観察ガイドツアー」

<実施日程>

第1期 立山エリア 1回目 令和3年6月26日(土)～27日(日)
2回目 令和3年6月30日(水)～7月1日(木)
3回目 令和3年7月3日(土)～4日(日)
4回目 令和3年7月7日(水)～8日(木) の4回

乗鞍エリア 1回目 令和3年7月3日(土)～4日(日)
2回目 令和3年7月6日(火)～7日(水)
3回目 令和3年7月10日(土)～11日(日)
4回目 令和3年7月13日(火)～14日(木) の4回

第2期 立山エリア、乗鞍エリア共に8月下旬～10月上旬(詳細は未定)

<実施場所>

立山エリア 室堂周辺 宿泊は立山室堂山荘か雷鳥荘
乗鞍エリア 大黒岳周辺 宿泊は乗鞍白雲荘か銀嶺荘



©KOUHEI takahash

<実施料金>

※ツアー参加者にはその参加費からライチョウ保全のための寄付金が含まれています。

立山エリア 37,800 円～ 室堂ターミナル集合

2日間のツアーガイド費、1泊宿泊費(夕食)、翌朝食お弁当、ライチョウ保全費、保険含む

乗鞍エリア 37,800 円～ 畳平ターミナル集合

2日間のツアーガイド費、1泊宿泊費(夕食)、翌朝食お弁当、ライチョウ保全費、保険含む

→乗鞍エリアは松本駅からの直通タクシープランや、福岡・神戸からの

FDA プランも有り。詳しくは下記ツアー主催の旅行会社へお問い合わせください。

<募集人員>

1回の催行は8名まで(最少催行人員はお問い合わせください)。

※子供は小学4年生以上とさせていただきます。

※第1期は子供達(小学生、中学生、高校生など18歳未満)のガイド費を無料

とさせていただきます(交通費、宿泊費、保険費、雷鳥保全費などの実費はかかります)。

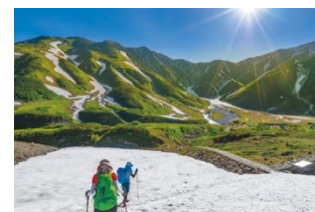
<実施スキーム>

【立山・室堂エリア】

ツアー主催： 株式会社 Travearth(トラバース)

ガイド派遣： 立山ガイド協会

協力： 富山県立山カルデラ砂防博物館
環境省自然環境局野生生物課
環境省中部山岳国立公園管理事務所



一般社団法人 日本アルプスガイドセンター

【乗鞍エリア】

ツアー主催： アルピコ長野トラベル株式会社

ガイド派遣： 認定 NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会 やまたみ

協力： 乗鞍白雲荘/乗鞍国際観光株式会社
環境省自然環境局野生生物課
環境省中部山岳国立公園管理事務所
一般社団法人 日本アルプスガイドセンター



＜ツアーへの問い合わせ先＞

立 山： Travearth(トラバース) 076-456-3770 担当 大塚憲一

乗 鞍： アルピコ長野トラベル 0263-87-2240 担当 志水義隆

＜注 意＞

ライチョウは野生動物です。観察ツアーといえども 100%見られる保証はありませんので、その点ご了承の上ご参加いただきます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によって、催行は予告なく中止となる場合があります。また悪天候によっても急遽中止される場合があります。ご了承の上お申し込み頂きます。

ー主旨

既にご存知のように日本を代表する高山域での野生動物ライチョウは、様々な要因から近年その数が激減、絶滅が危惧されています。令和2年日本アルプスガイドセンターから、ハイキング中のライチョウとの遭遇にあたって、ライチョウを観察するルールを明文化した「ライチョウ観察ルールハンドブック」が環境省の協力のもとに制作・発行され、同時にウェブサイトにも掲載されました（参照）。このハンドブックは反響を呼び、改めて山に親しむ日本人にとって、ライチョウは特別な存在だと認識され、その保護の重要性も多くの方に共有されました。

そこで本年は更に一步踏み込み、より幅広く関係団体が結集し、国立公園の新たなネイチャーツアーとして、ハイカーや登山者などに対して、ライチョウとの遭遇を主眼としたガイドツアーを行うべく実施に向けた準備を進めています。教育を受けた山のガイド達を通じて、ツアーへの参加者をはじめ、更に多くの方々にライチョウとの接し方、保護重要性の理解促進、更にはライチョウをきっかけとした、野生動物や国立公園の自然環境保護の重要性を知っていただく機会としたいと考えています。

ーツアーの特色

①「ライチョウの保全に役立ちます」

ツアー参加費用にはライチョウ保全への寄付金が含まれ、参加するだけでライチョウ保護活動の一助となります。

②「ライチョウのことを深く知ることができます」



ツアーガイド達は、地域のライチョウ研究者達から、講習やフィールドでの指導研修によって、生態をはじめとした様々なライチョウの情報を事前に得て、その知見をツアーに反映させます。参加者は今まで知らなかったライチョウの生態やライチョウの保護活動などを、ガイドを通じて学ぶ貴重な機会となります。

③「ライチョウだけでは無い、日本の自然環境や野生動物について知ることができます」

更にツアーガイド達は日本の自然環境、生物多様性、地域の野生動物など SDGs に沿った幅広い知見を、その道のエキスパート達から指導研修を受けてツアーに反映させます。参加者はガイドを通じてライチョウだけではなく、日本の自然環境についても新たなことを知り、満足度の高いネイチャーツアー体験となるでしょう。

④「山のプロが案内する安心のツアーです」

ツアーガイドは地域に根ざした山のプロ達です。高原平地から山の稜線まで幅広く状況に応じたガイドがなされ、ライチョウをめぐる山旅をより深く安心して味わうことができます。

⑤「地域ならではの連携で地域の活性化につながります」

こうした地元の山岳ガイドが活躍する場を、地元旅行会社が主催をすることで地域の連携が進み、このスキームを基盤として、将来に渡っても地域の活性化につながるツアーとして期待されます。

⑥「サステナブルなライチョウ保護活動の契機とします」

(第1期は小学4年生～高校生はガイド費無料：実費のみ)ファミリーをメインの対象として、子供達がライチョウに接する機会を増やし、サステナブルな活動の契機としたいと考えます。

→コロナ禍を乗り越え、地域で連携し、山のガイド達が新たな取り組みを行い、野生動物の保護と山岳観光を両立する新しい可能性を広げていきます。

<参 照>



令和2年発行された
「ライチョウ観察ルールハンドブック」

<https://thejapanalps.com/ptarmigan>

発行：一般社団法人日本アルプスガイドセンター

監修/編集協力：環境省

写真：雷鳥写真家 高橋広平氏 他



令和2年「ライチョウ観察ツアーテスト版」を実施
参加者の声（一部）

- ・ライチョウを愛おしく思う気持ちが生まれた。
- ・探し方や見つけた時に取るべき行動、生態など知らなかったことを教えて頂く機会となった。
- ・ライチョウや乗鞍の山のことを解説していただけて大変に勉強になった。
- ・野生動物を見る事見つけることの難しさも理解することができた。
- ・ライチョウを守る自然意識につながる
- ・ライチョウをきっかけにもっと広い範囲に興味が広がる
- ・ふんとか羽根とかリアルな情報（フィールドマーク）まで解説をしてもらうのはガイドとして素晴らしい

本リリースへのお問い合わせは-

◆一般社団法人 日本アルプスガイドセンター

新美 透

TEL：代表 03-5324-2385 携帯 080-2557-3809

E-Mail：toru_niimi@thejapanalps.com

◆立山ガイド協会

TEL：076-482-1201

E-Mail：tateyamaguide@gmail.com

◆認定 NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ

TEL：0263-34-1543

E-Mail：info@yamatami.com

◆株式会社 Travearth（トラバース）

担当：大塚 憲一

TEL：代表 076-456-3770

E-Mail：info@travearth.jp

◆アルピコ長野トラベル株式会社

担当：志水 義隆

TEL：0263-87-2240

E-Mail：shimizu.yoshitaka@alpico.co.jp

以上